

2013年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生

選考試験学科試験問題

(学部・研究留学生用)

日 本 語

注意 ☆試験時間は120分

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

☆問題はA(初級)、B(中級)、C(上級)の三つあります。

問題

A

Elementary Level

I _____ に ^{はい}入る てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひとつ}一つ えらびなさい。

(例) わたしは らいねん ^{にほん}日本 _____ いきます。

A が B へ C を D で

- 1 としょかんの となり _____ ゆうびんきょくが あります。
A で B を C へ D に
- 2 ^{かわ}川へ およぎ _____ いきます。
A と B に C は D へ
- 3 この へやは しずか _____ ひろいです。
A で B と C の D や
- 4 ^{せんせい}先生が ^く来る _____ ここで まってください。
A まま B までに C まで D ままに
- 5 じょうずに ひらがなが _____ になりました。
A ^か書いて B ^か書きように C ^か書くように D ^か書けるように
- 6 わたしの しゅみは ^{はな}花の シャしんを _____ です。
A とっている B とること C とるため D とるの
- 7 だんだん ^{そら}空が くらくなって _____。 ^{あめ}雨が ふるかもしれない。
A きた B おいた C みた D あった
- 8 まどが _____ います。
A しめて B とめて C あいて D あるいて
- 9 ^{やまもと}山本さんは よく ^{べんきょう}べんきょう _____、 ^{しけん}試験に ^{ごうかく}合格しませんでした。
A したのに B して C する D だが

10 パスポートを _____ しまったんですが、 どうしたら いいですか。

- A おどろいて B こわして C なくして D まわって

11 鈴木さんの _____ は よく 聞こえます。

- A あご B こえ C てくび D ほん

12 _____ とき、 よく ともたちと こうえんで 話しました。

- A 赤い B 太い C 短い D 若い

13 _____ しゅくだいが 終わりました。

- A ずっと B やっと C もっと D そっと

II _____ と かんけいがある ものを A~Dの 中から 一つ えらびなさい。

(例) けさ 雨が ふりました。

- A きょうの あさ
B きょうの ゆうがた
C きのうの あさ
D きのうの ゆうがた

1 わたしには おとこのこが 2人 います。

- A おじ B おば C おすこ D おすすめ

2 その 仕事は、わたしには むりです。

- A うれしいです B かなしいです C しずかです D できません

3 この 本は とても いい です。

- A きびしい B すばらしい C つまらない D はずかしい

4 この コップは じょうぶです。

- A おきにくい B のみやすい C もちやすい D われにくい

5 ^{ゆき}雪が ふりだした。

- A ふり終わった
- B ふりすぎた
- C ふりつづけた
- D ふりはじめた

6 この コピー機は こわれています。

- A おれています
- B かかれています
- C つかえません
- D みえません

7 このごろ、^{あめ}雨の ^ひ日 ^{おほ}が多い。

- A ^{あいだ}この間
- B ^{まえ}この前
- C ^{さいきん}最近
- D ずっと

8 わたしは 大学に ^{だいがく}つとめています。

- A ^{せんせい}先生です
- B ^{だいがくせい}大学生です
- C ^{だいがく}大学で ^{べんきょう}べんきょうしています
- D ^{だいがく}大学を ^{そつぎょう}そつぎょうしました

9 ^{なかむら}中村さんは 「すみません」と ^い言いました。

- A あやまりました
- B おこりました
- C せいかつしました
- D わらいました

10 さわがないで ^{ください}ください。

- A ^き気に ^{しないで}しないで ください
- B ^{しずかに}しずかに ^{してください}してください
- C ^{しんぱい}心配を ^{かけないで}かけないで ください
- D ^{よく}よく ^{読んで}読んで ください

- 5 ^{ゆき}雪が ふりだした。
- A ぶりおわった
B ぶりすぎた
C ぶりつづけた
D ぶりはじめた
- 6 この コピー機は こわれています。
- A おれています
B かかれています
C つかえません
D みえません
- 7 このごろ、^{あめ}雨の ^ひ日 ^{おほ}が多い。
- A この間 ^{あいだ} B この前 ^{まえ} C 最近 ^{さいきん} D ずっと
- 8 わたしは 大学に ^{だいがく} つとめています。
- A 先生 ^{せんせい}です
B 大学生 ^{だいがくせい}です
C 大学 ^{だいがく}で べんきょうしています
D 大学 ^{だいがく}を そつぎょうしました
- 9 ^{なかむら}中村さんは 「すみません」と ^い言いました。
- A あやまりました
B おこりました
C せいかつしました
D わらいました
- 10 さわがないで ^さください。
- A 気 ^きに しないで ください
B しずかに してください
C 心配 ^{しんぱい}を かけないで ください
D よく ^よ読んで ください

Ⅲ _____に ^{はい} 入る てきとうな ものを A~Dの ^{なか} 中から ^{ひとつ} 一つ えらびなさい。

1 田中さん：^{たなか} 「もう ^{しゅくたい} 宿題を しましたか。」

マナさん：「_____。」

- A はい、もう します
- B はい、まだ しました
- C いいえ、していません
- D いいえ、しませんでした

2 マナさん：^{せんせい} 「先生、エアコンを つけても いいですか。」

先生：^{せんせい} 「_____、^{おんど} 温度は ^ど 28度に してください。」

マナさん：「どうして ですか。」

先生：^{せんせい} 「今、^{いま} 日本では ^{にほん} 電気が ^{でんき} あまり ^{つか} 使えないんですよ。」

- A どうぞ
- B いいですが
- C こまりますが
- D ^{きょう} 今日 ^{あつ} は 暑い ^{あつ} ですから

3 田中さん：^{たなか} 「なでしこジャパン、^{つよ} 強かったですね。」

マナさん：「すみません、_____。」

田中さん：^{たなか} 「日本の ^{にほん} 女の ^{おんな} 人の ^{ひと} サッカー・チームです。ワールド・カップで一番 ^{いちばん} になったんですよ。」

- A それは ^{なん} 何 ^{なん} ですか
- B これは ^{なん} 何 ^{なん} ですか
- C あれは ^{なん} 何 ^{なん} ですか
- D どなた ^{なん} ですか

- 4 田中さん：「あなたの ^{ご出身}は バンクーバーでしたね。」
メアリーさん：「ええ、_____。」

- A そうです
- B そうでした
- C そうですか
- D そうじゃありません

- 5 家の人：「どうぞ ^{お上がり}ください。」
客：「ありがとうございます。_____。」

- A しつれいです
- B しつれいしました
- C おじゃまします
- D おじゃましました

IV ①～⑧の 漢字の ^{読み方}を ひらがなで ^{書きなさい}。また、(1)～(7)の _____ の ひらがなを ^{漢字}で ^{書きなさい}。

大きな ① 声 で 魚を ② 売って いる人が います。

わたしの娘は ③ 九月 に ④ 生まれ ました。

あまり お金がないので ⑤ 値段 が高いと ⑥ 買え ません。

⑦ 早く 病院へ 行って ⑧ 薬 を もらってください。

この (1) あお い セーターは 二千 (2) えん です。

両親は (3) あさ から 夜おそくまで (4) はたら いています。

その(5) や 菜は 少し (6) にが い (7) あじ が します。

V 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から一つ選びなさい。

外から帰って手を洗ったり、汚れた服や皿を洗ったりするとき、洗剤を使います。洗剤には、せっけんと合成洗剤の二つがあります。

昔、人は汚れをとるために、肉を焼いたときに落ちた油と、木を燃やしたあとの灰を使いました。これがせっけんの始まりだそうです。現在せっけんは、動物や植物の油から作られています。この油はいい油なので、川などに流れても、魚などが病気になるったり、死んだりしてしまう心配がほとんどありません。

一方、合成洗剤は、主に石油から作られています。服を洗濯機で洗うようになってから、たいへん広く使われるようになりました。合成洗剤はせっけんに比べ、汚れがとれやすいのですが、川などに流れた場合、生物への悪い影響があります。ただ、合成洗剤は、ゴキブリなどの害虫を殺すときに役に立つので、人の体に悪いものであるという人がいますが、これは決して正しくありません。

ところで、洗剤を使うと汚れがよくとれるのはどうしてでしょうか。汚れは主に油からできています。水と油はいっしょになりにくいので、油の汚れを水でとろうとしてもなかなかとれません。洗剤には、水といっしょになりやすい部分と、油といっしょになりやすい部分があります。この二つが汚れをとります。例えば、服を洗うときに洗剤を入れると、油といっしょになりやすい部分が汚れを包んで、服から離れやすくします。そして、水といっしょになりやすい部分が洗濯機の水に引っぱられるので、汚れは簡単に服から離れて、どんどん小さくなっていきます。洗剤が汚れを包んでいるので、一度とれた汚れがまた服についてしまうことはありません。水をかえてもう一度洗うと、小さくなった汚れや洗剤が水といっしょに流されて、服はきれいになります。

問い1 洗剤について書いた次の文のうち、正しいものはどれですか。

- A 自然や人の体によくない。
- B せっけんは洗剤ではない。
- C 汚れたものをきれいにするのに使う。
- D 洗濯機のおかげで洗剤が使われるようになった。

と
問い2 せっけんについて書いた次の文のうち、正しいものはどれですか。

- A 川かわに流ながれても、魚さかななどへの問題もんだいが少すくない。
- B 油あぶらと木きの灰はいから作つくられている。
- C 合成洗剤ごうせいせんざいよりも汚よごれがとれやすい。
- D 水みずや油あぶらといっしょになりにくい。

と
問い3 合成洗剤ごうせいせんざいについて書いた次の文のうち、正しいものはどれですか。

- A せっけんほどよく汚よごれがとれない。
- B 材料ざいりょうは石油せきゆである。
- C 洗濯機せんたくきができる前まえから広ひろく使つかわれていた。
- D 人体じんたいに悪わるいものである。

と
問い4 洗剤せんざいを使うと、汚よごれが落おちやすくなるのはどうしてですか。

- A 水みずと油あぶらはいっしょになりにくいから
- B 水みずをかえてもう一度いちど洗あらうから
- C 洗剤せんざいには、木きの灰はいが入はいっているから
- D 汚よごれが洗剤せんざいに包つつまれて、服ふくから離はなれやすくなるから

問題

B

Intermediate Level

I _____に入る正しいものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 景気が悪いので、自分の将来を不安_____思う人が多い。
A な B に C だ D で
- 2 日本では、先生_____はじめ、いろいろな人にお世話になった。
A から B に C より D を
- 3 飛行機_____、新幹線にも乗ったことはありません。
A こそ B どころか C のうえに D ばかり
- 4 大学を_____ものの、なかなか仕事が見つからない。
A 出る B 出て C 出た D 出す
- 5 昔から田中さんには_____助けてもらっている。
A 何かと B 何とも C 何の D 何も
- 6 国に帰る友だちを_____に空港まで行った。
A お出かけ B お知らせ C 出あい D 見送り
- 7 2月なのに、_____春のように暖かい。
A せめて B たとえ C まるで D もし
- 8 _____人を傷つけるような言葉を言ってはいけない。
A 気の毒に B 率直に C なつかしく D 平気で
- 9 人を思いやる彼の態度には、_____。
A 頭がさがる B 足が出る C 肩を持つ D 手がかかる
- 10 港に大きな外国船が_____とまっています。
A 二便 B 二隻 C 二台 D 二機

II _____ とほぼ同じ内容のもの、または、_____ と最も関係のあるものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 私 は ふだん 図書館で勉強します。
A いつも B たびたび C たまに D めったに
- 2 日本の政治に 関 して 詳しく教えてください。
A おいて B 対して C ついて D よって
- 3 仕事を始めるに あ たり、注意すべきことを最初にお伝えいたします。
A たびに B に際し C につけ D ものなら
- 4 窓を 開 けた まま寝たので、かぜをひいてしまった。
A 開けたきり B 開けたせいで C 開けつつ D 開けばなしで
- 5 忘 れ ないうちに先生がおっしゃったことをメモしておこう。
A 覚えている間 B 覚えているうちに C 忘れてしまわない前に D 忘れなければ
- 6 何時間も待ったが、結 局、友だちはやって来なかった。
A ついに B なかなか C やっと D やがて
- 7 お名前は、漢字 あ る いはローマ字でご記入ください。
A というより B とか C のみならず D または
- 8 かつて田中さんが会社を休むことは ま ず なかった。
A 大半 B 必ずしも C はじめは D めったに
- 9 彼はコンピューターが ほ し くてたまらないようだ。
A あまりほしくない B とてもほしい C ほしいと言えない D ほしいにちがいない

10 ^{いま}今のペースだと来週までに作業が終わらないおそれがある。

- A ^お終わらない可能性^{かのうせい}がある B ^お終わらないため心配^{しんぱい}している
C ^お終わるに相違^{さうい}ない D ^お終わるはずがない

Ⅲ _____ ^{はい}に入る最も適当^{ちとう}なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

1 ^{いえ}家の人：^{ちや}「お茶でもどうぞ。」

^{きゃく}客：^{どう}「どうかおかまいなく。」

^{いえ}家の人：^{かど}「_____、ゆっくりしてってください。」

^{きゃく}客：^あ「ありがとうございます。」

A ^{なに}何もいませんが

B ^{なに}何もかまいませんが

C ^{なに}何もごさいませんが

D ^{なに}何ものみませんが

2 ^{すず}鈴木さん：^{きのう}「昨日駅前^{たなか}で田中さんに会ったよ。」

^{さとう}佐藤さん：^{たなか}「田中さん_____、高校^{こうこう}のとき同じクラス^{おな}だったあの子^こ？」

^{すず}鈴木さん：^{そう}「そうそう、すっかり^お落ち着い^つちゃって、全然^{ぜんぜん}分^わからなかった。」

^{さとう}佐藤さん：^{そう}「そうなんだ。」

A ^{って}って

B ^{ったら}ったら

C ^{なら}なら

D ^{でも}でも

3 ^{がくせい}学生：^{せんせい}「先生、ビールをおつぎ_____。」

^{せんせい}先生：^あ「ああ、ありがとう。」

A ^にになられ^ましょうか

B ^にになり^ましょうか

C ^さされ^ましょうか

D ^ししま^しょうか

- 4 佐藤さん：「このベビー服、うちの子には着られなくなったので、_____？」
鈴木さん：「こんなにたくさんいただいてもいいんですか？」
佐藤さん：「うん、全然かまわない。使わないもんだから。」

- A やってくれる
B やってあげる
C もらってくれる
D もらってあげる

- 5 佐藤さん：「昨日の山田先生の講演、どうだった？」
鈴木さん：「おもしろかったよ。君も参加すれば_____。」

- A よかったのに
B いいと思ったよ
C よかったはずだよ
D いいはずだったよ

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____のひらがなを漢字で書きなさい。

今日は ① 寒い ので ② 上着 を着て出かけることにした。

友人の家を ③ 訪ねて みたが、残念ながら ④ 留守 だった。

学校の ⑤ 門 の前で友達と ⑥ 別れ た。

父はとて ⑦ 厳しい 人で、子供の頃はよく ⑧ 叱られ た。

先生の言葉は私に (1) ゆう 気と (2) き 望を与えてくれた。

警察官は (3) に げる犯人を (4) お いかけた。

花屋に (5) よ って、小さな花(6) たば を買って帰ろう。

このダンボール箱を2階に (7) はこ んでください。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

日本を離れて外国にいと、しだいに日本料理が食べたくなる。ぼくは中国に留学して三年たったとき、日本人留学生に今何を食べたいかとアンケートをとったことがある。一位カレー、二位トンカツ、三位寿司だった。ぼくも中国にいた三年目には、本当にトンカツが食べたくなった。これほどまでに、トンカツはぼくたちに愛されている料理だ。でも、その(1) _____ はそれほど古くない。

明治以前の江戸時代のウシは、水田や畑を耕すために使われたり、荷車を引っぱるなどに利用するために飼われていた。でも食べられることはなかった。さらにブタは、ほとんど飼われていなかった。

江戸時代は鎖国といって、(2) _____。ところが明治になって、とくにヨーロッパやアメリカの西洋文化がどっと日本に入ってきた。

当時の明治政府は、それまでの肉食を禁止する決まりをやめて、反対に国が、肉食を押し進めるようにした。その理由は、西洋の文化に日本も学び、国を強くしようとしたからだ。つまり西洋的な「文明人」の仲間入りをするため、(3) _____、というわけである。

もう一つの理由は、どうやら西洋人の体格が、あまりに日本人より大きいのでショックを受けたことにも原因があったといわれている。国民に肉を食べさせ栄養をつけ、体格を西洋人に負けないよう大きくする(4) _____があると思っただらしい。

(中略)

こうした、西洋の文化はすぐれており、それに学ばなくてはという雰囲気の中で、やがてトンカツは誕生する。フランス料理にカツレットという、ブタ肉を薄く切ってパン粉をつけて、油を薄くひいたフライパンで炒めるように揚げた料理がある。トンカツはカツレットが起源になっている。「豚」の「トン」と「カツレット」の「カツ」があわさって、トンカツが生まれた。およそ七十年前のことだ。

カツレットは、フランス料理である。ところがそれから生まれたトンカツは、日本人の好みに合わせて改良されていく。トンカツは、揚げる鍋の油の温度を微妙に調整して、分厚いブタ肉の中まで火を通す。これは日本料理のテンプラの技法を使っている。西洋にはトンカツに相当する料理法はない。

またトンカツにソースをかけ、それに生のキャベツのせん切りや、みそ汁をつけるのも、トンカツをご飯のおかずとして食べる工夫だった。それにトンカツを初めから切っ
て食べやすくするのも、箸を使って食べる日本人にあわせた調理法だった。パンを主食
とする西洋とは違い、ブタ肉を食べるのにも、日本人が好むコメの白いご飯のおかずと、
食事マナーにあわせて変化させていく工夫の歴史があったわけだ。

(西谷 大『食べ物と自然の秘密』より、一部表記を改めた。)

問い1 下線部(1)に入るもっとも適切なものはどれですか。

- A 料理 B 歴史 C 文化 D 理由

問い2 下線部(2)に入るもっとも適切なものはどれですか。

- A 日本は外国との付き合いがほとんどなかった
B 日本は外国の食べ物を輸入したことはなかった
C 日本は外国への留学を勧めてはいなかった
D 日本は外国の人に挨拶することを禁じていた

問い3 下線部(3)に入るもっとも適切な文はどれですか。

- A 一般の人びとも西洋人の料理法を積極的に学べ
B 一般の人びとも西洋人と同じくパンを主食にせよ
C 一般の人びとも西洋人の食事のマナーを身につける
D 一般の人びとも西洋人がおこなっている肉食をせよ

問い4 下線部(4)に入るもっとも適切なものはどれですか。

- A 要旨 B 必要 C 需要 D 要素

問い5 本文と内容があうものはどれですか。

- A 江戸時代の人にはウシや魚だけでなくブタも食べなかった。
B カツレットとトンカツはどちらもフランス料理である。
C トンカツはご飯にそえて食べるものと考えられている。
D 留学して三年目にはかならず日本料理が食べたくなる。

問題

C

Advanced Level

I _____に入る最も適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 日本に着く_____否や、すぐにアパートを探した。
A か B と C の D や
- 2 あなたのようなよいライバルがいた_____, 優勝することができたのです。
A ばかりで B ばかりに C からこそ D からは
- 3 お盆はご先祖様をお迎えする重要な行事であると_____。
A されている B している C なっている D なられている
- 4 こんなに実力差があっては、絶対に_____っこないよ。
A 勝つ B 勝て C 勝った D 勝って
- 5 彼女は、今回の責任は自分にはないとでも_____の他人事のような口調で話した。
A 言いかけ B 言おうべき C 言わずもがな D 言わんばかり
- 6 あんなことを先生に言うとは、君は_____馬鹿なんだ。
A なんか B なんて C どうか D どうも
- 7 試験に落ちたくらいで_____悩まない方がいいよ。
A くよくよ B しくしく C はらはら D おかむか
- 8 健康のためといって、あまりに走り込みすぎて故障しては_____だ。
A 一触即発 B 閑話休題 C 一石二鳥 D 本末転倒

II _____とほぼ同じ内容のもの、または、_____と最も関係のあるものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 計画を実行する前に、会議でコンセンサスを得る必要がある。
A 協力 B 合意 C 採決 D 承認

2 将来は創造的な仕事に就きたい。

- A アカデミック B ペアルック C アクティブ D クリエイティブ

3 日本チームは、格下のチームにかろうじて勝った。

- A なんとか B やっぱり C どうとう D とにかく

4 彼はそばを通りかかった彼女に聞こえよがしに嫌みを言った。

- A 聞こえてはいけないので B 聞こえないまでも
C 聞こえないように D 聞こえるように

5 そんなことを言っても、あとのまつりだ。

- A とてもさびしい B まつりのあとだ
C もう遅い D 許されない

6 今回だけは大目に見てください。

- A がんばって B 手伝って C 任せて D 許して

7 自殺者は年々増加の一途^{など}を辿っている。

- A 増え続けている B 増え方が急である
C 以前と同じ増え方をしている D 増えたことは増えた

8 大きな会社ほど融通がきかないものだ。

- A 言うことを聞いてくれない B お金を貸してくれない
C その場に応じて対処できない D 倒産しにくい

9 試合が終わった選手達に監督はねぎらいの言葉をかけた。

- A 苦勞をたたえた B 文句を言った
C 助言を与えた D 感動を伝えた

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 課長： 「実は、木村さんが病気で入院したのですが、誰か木村さんの代わりに手伝ってくれる人はいないでしょうか。」

田中さん：「課長、よろしければ、私に_____。」

課長： 「そうですか。じゃ、この件は田中さんをお願いします。」

- A やっていただけないでしょうか
- B やってもらえないでしょうか
- C やらせていただけないでしょうか。
- D やらせていただきませんかでしょうか

- 2 電話の声：「武田さんいらっしゃいますか。」

田中さん：「いま、武田は席を_____おりますが。どちら様でしょうか。」

- A はずして
- B あけて
- C すかせて
- D すいて

- 3 姉：「冷蔵庫に入れていた私のアイスクリームなくなってるんだけど。」

弟：「_____僕が食べたって思っていないでしょうね。」

- A さぞ
- B まさか
- C 絶対
- D ゆめにも

- 4 店員：「雨に_____から、箱にビニールをかぶせておきますね。」

客：「わざわざ、すみません。」

- A ぬれるといけない
- B ぬれればいけない
- C ぬれなければいい
- D ぬれないといい

- 5 妻：「ねえ、スーツケースがいっぱいで、このくつがどうしても_____、あなたのスーツケースに入れてくれない？」
夫：「無理だよ。僕のもいっぱいだよ。」

- A いれないんだけど
- B はいらないんだけど
- C はいられないんだけど
- D はいれないんだけど

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____のひらがなを漢字で書きなさい。

私の叔父は ① 田舎 で 小さな喫茶店を ② 営んで いる。
山に ③ 湧いて いる水で 少しのどを ④ 潤して からまた歩き出した。
空に浮かぶ ⑤ 三日月 をひとり ⑥ 眺め ながら、いろいろと考えた。
未来を ⑦ 担う 子供達の笑顔に ⑧ 癒やされ た。
今度の新しい総理大 (1) じん は、どんな 政 (2) さく で挑むのだろう。
犯人は (3) こう 妙な手口を使って部屋に (4) しん 入したようだ。
太陽が (5) て っている間は、温度を一定に (6) たも つことができる。
ちょっと目を離した隙に、魚を真っ黒に (7) こ がしてしまった。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

言葉には力の序列がある。

一番下には、その言葉を使う人の数がきわめて限られた、小さな部族の中でしか流通しない言葉がある。その上には、民族の中で通じる言葉、さらにその上には、国家の中で流通する言葉がある。そして、一番上には、広い地域にまたがった民族や国家のあいだで流通する言葉がある。

今、人々の間の交流が急激にさかんになったことによって、(1) 言葉に有史以来の

異変が二つおこっていると言われている。

一つ目の異変は、下の方の、名も知れぬ言葉が、たいへんな勢いで絶滅しつつあるということである。今地球に六千ぐらいの言葉があるといわれているが、そのうちの八割以上が今世紀の末までには絶滅するであろうと予測されている。歴史の中で、あまたの言葉が生まれては消えていったが、今、言葉は、生まれるよりも勢いよく消えつつある。激しい環境の変化の中で、自然界ではありえなかった勢いで生物が絶滅しつつあるのと同様、都市への人口集中や伝達手段の発達や国家の強制によって、言葉は、かつてない勢いで消えつつある。

二つ目の異変は、今までには存在しなかった、すべての言葉のさらに上にある、世界全域で流通する言葉が生まれたということである。

それが今(2) 〈普遍語〉となりつつある英語にほかならない。

英語がほかの言葉を押しつけて一人〈普遍語〉となりつつあるのは、歴史の偶然と必然とが絡み合っただけのことである。英語という言葉そのものに原因はない。思うに、英語という言葉は、ほかの言葉を〈母語〉とする人間にとって、決して学びやすい言葉ではない。もとはゲルマン系の言葉にフランス語がまざり、ごちゃごちゃしている上に、文法も単純ではないし、そもそも単語の数が実に多い。慣用句も多い。おまけにスペリングと発音との関係がしばしば不規則である。さらに、発音そのものが、それを〈母語〉としない多くの人にとって非常におずかしい。

ところが言葉というものはいったんここまで広く流通すると、そのようなこととは無関係に、雪だるま式にさらに広く流通してゆくものなのである。通じるがゆえに、多くの人を使い、多くの人を使うゆえに、より通じるようになるからである。実際、通貨でも、多くの人を使う通貨は、多くの人を使うゆえに、さらに多くの人を使うようになる。そのうちその通貨が〈世界通貨〉として流通するようになれば、それは、まさにそれが〈世界通貨〉として流通しているという事実によって、多くの人を使い続け、〈世界通貨〉として流通し続ける。アメリカの経済が黄昏期を迎えても、ドルがこの先当分〈世界通貨〉として流通し続けるのは、この流通の法則による。通貨がそのように流通するのなら、(3) いわんや、言葉をや、である。流通するがゆえに流通するという点では、〈普遍語〉は〈世界通貨〉よりも、より純粋に自動運動を続けられる。大英帝国が減びてから半世紀ほどでポンドはドルに〈世界通貨〉の地位を譲ったが、ローマ帝国が減びてからなんと十世紀にわたってラテン語はヨーロッパの〈普遍語〉としてしぶとく生き延びた。

しかも、である。しかも、今やインターネットという技術も加わった。今や〈普遍語〉は、国境という人為的な壁も、ヒマラヤ山脈やサハラ砂漠や太平洋という自然の壁も、何もかも越えて飛び交うことができるのである。

百年後の地球の運命も定かではなく、いつまで私たちの知る文明が続くかもわからない。(4a) _____、英語は、少なくとも私たちの知る文明が存続する限りの〈普遍語〉となる可能性が限りなく強いのである。もちろん、世界の経済情勢が変わるにつれ、中国語、スペイン語、アラビア語なども今とは比べられない重要な言語になるであろう。(4b) _____、それらの言葉が英語を〈普遍語〉の座からひきずり降ろし、英語にとってかわって〈普遍語〉となる日がくるのは考えられない。たとえば、今、気の遠くなるような人口を抱えた中国の経済発展はめざましく、中国語は急に脚光を浴び、学ぶ人も多い。(4c) _____、日本人が中国と交易するとき中国語を使うようになったとしても、インドと交易をするときにまで中国語を使う日がくるのを想像するのは容易ではない。(それどころか、やはりめざましいインドの経済発展は、かえって英語の勢力を増やすだけであろう。) ロシアと交易するときまで中国語を使う日がくるのを想像するのも容易ではない。その言葉を(5a) _____として使う人口の多さと、その言葉が(5b) _____であるというのはまったく別のことなのである。

英語が〈普遍語〉になるとは、どういうことか。

それは、英語圏をのぞいたすべての言語圏において、〈母語〉と英語という、二つの言葉を必要とする機会が増える、すなわち、〈母語〉と英語という二つの言葉を使う人が増えていくことにほかならない。そのような人たちが今よりはるかに増え、また、そのような人たちが今よりもはるかに重要になる状態が、百年、二百年続いたとする。そのとき、英語以外の諸々の言葉が影響を受けずに済むことはありえないであろう。ある民族は〈自分たちの言葉〉をより大切にしようとするかもしれない。だが、ある民族は、悲しくも、〈自分たちの言葉〉が「亡びる」のを、手をこまねいて見ているだけかもしれない。

(水村美苗『日本語が亡びるとき—英語の世紀の中で』より)

問い1 下線部(1)について、「異変」の一つの内容として正しいものはどれですか。

- A 民族や国家を越えたレベルで流通する言葉が現れてきている。
- B 言葉にみられた力の序列の中で順位が入れ替わろうとしている。
- C 都市への人口集中や伝達手段の発達で、急速に言葉が多様化している。
- D 人々の交流がさかんになることで、言葉の変化の速度が変わってきている。

問い2 下線部(2)について、英語が〈普遍語〉となりつつある理由として正しいものはどれですか。

- A 文法や発音に難しいところもあるが、努力すれば身につけられる言語だから
- B 世界中のどこの国でも子どものときから学校教育の一つとして行われるから
- C 多くの人を使うことによって流通し、流通することで多くの人を使うから
- D 戦後の世界経済の中で英語を使うアメリカの影響がとても大きかったから

問い3 下線部(3)をわかりやすく言い換えるとどのようになりますか。

- A 言葉は通貨と無関係に流通するようになるわけである。
- B 言葉が流通するようになるのはなおさらのことである。
- C 言葉は通貨のように流通するとは言えないはずである。
- D 通貨の流通を言葉で表現することはできないものである。

問い4 下線部(4a)(4b)(4c)にはすべて同じ言葉が入ります。その言葉を次の中から選びなさい。

- A だが B つまり C ところで D そもそも

問い5 下線部(5a)(5b)に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。

- A a 普遍語 b 重要な言語
- B a 母語 b 普遍語
- C a 自分たちの言葉 b 重要な言語
- D a 母語 b 自分たちの言葉

問い6 この文章の筆者は、英語が〈普遍語〉となる時代を予想して、どのように考えていますか。

- A 非英語圏の言語と英語との言葉の力の序列が経済問題に関係するようになる。
- B 非英語圏の人が〈母語〉と英語を学ぶことで、世界中の人々の意思疎通が進む。
- C 非英語圏では、〈母語〉を〈自分たちの言葉〉として守っていくことが求められる。
- D 非英語圏においては、〈自分たちの言葉〉に対する考え方が問われるようになる。